

平成22年度 オール東京62市区町村共同事業 「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」事業計画書

東京の基礎自治体である62市区町村は、平成19年度から「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」を立ち上げ、共同・連携して様々な取り組みを行ってきた。

平成22年度は、平成21年度に実施した事業をもとに、国の環境施策の動向を踏まえながら、より効果的な事業を実施していく。

事業名	主な事業内容	区分
〔1〕CO2削減につながる活動の普及・省エネルギーの促進・温室効果ガス排出抑制		
①共同事業普及・啓発	○オール東京62共同事業による環境負荷低減活動など、共同事業の普及・啓発を行うため、パンフレット・啓発物品の作成、配布等を行う。	継続
②温室効果ガス標準算定手法の共有化推進	○各自治体の温室効果ガスの排出量を継続して算定し、その結果を公表する。	継続
③レジ袋削減キャンペーン	○「レジ袋削減に関する共同アピール」に基づき、レジ袋削減に向けた普及・啓発を行う。	継続
〔2〕みどりの保全と地球温暖化防止対策を推進するための連携体制構築		
①各団体の実施する事業との連携	○オール東京62のスケールメリットを活かし、62市区町村の実施する環境イベント等と連携した取り組みを行う。 ○チャレンジ25キャンペーン（旧チームマイナス6%）との連携を図る。	継続
②ホームページの維持管理	○HPを適宜更新し、みどり東京・温暖化防止プロジェクトの普及・啓発に努める。	継続
③市区町村職員共同研修の実施	○みどり東京・温暖化防止に相応しいテーマを選択し、各市区町村職員の知識向上のための専門研修を実施する。	継続
④カーボンオフセットの研究	○21年度の研究成果を踏まえ、具体化に向けた調査研究を更に進めていく。	継続
〔3〕人々が環境を考え、行動できる場の設定		
①みどり東京・温暖化防止プロジェクト助成金交付	○62市区町村の実施事業に、1市区町村150万円を限度として助成する。	継続
②みどり体験交流事業	○共同事業として実施した「みどり体験交流事業」の成果を引き継ぎ、各市区町村が実施する事業に対し助成金を交付する。	継続
③みんなで環境を考える共同行動の実施	○企業や学校、地域関係団体等が実施している環境問題にかかる様々な活動や取り組みを発表し、紹介するイベントを開催する。	改変
④(仮称)共同行動参加システムの実施設計及び構築	○21年度作成のシステムの基本計画に基づき、より多くの人々がみどりの保全や地球温暖化防止の活動に参加できる、インターネットを活用した共同行動参加システムを構築する。	拡充

みんなで環境を考える共同行動の実施

1 目的

企業や学校、地域関係団体等の環境に係る取り組みについて発表する場等を設けることにより、それぞれの活動を魅力的に応援し、「みんなで環境を考える」気運及び活動の質を高めることを目的とする。

2 事業内容等

従来行ってきたシンポジウムに替え、企業や学校、地域関係団体等が実施している環境問題にかかる様々な活動について、次の部門を設け、審査会（コンテスト）を実施する。

(1) 環境活動部門

- ア 企業や学校、地域団体等が行っている環境活動実践事例を募集する。
- イ 応募があった活動に対し、事前選考を行った後、審査会（コンテスト）を開催し、受賞活動を決定するとともに、その団体を表彰する。
- ウ 受賞作品ならびに応募があった実践例は、広く各自治体等に紹介する。

(2) クリエイティブ部門

- ア オール東京62の環境保全をテーマとした、アート及びミュージック作品を募集する。
- イ 応募があった作品に対し、専門家を含めた審査委員の審査によって受賞作品を決定するとともに、(1)の審査会当日に発表し、表彰する。
- ウ 受賞作品は啓発素材として、広く各自治体等に紹介する。

3 スケジュール

- | | |
|----------------------|---------|
| (1) 委託事業者の選定 | 4月～5月 |
| (2) 委託事業者の決定、契約、実施準備 | 6月～ |
| (3) 周知・募集 | 7月～10月 |
| (4) 審査会準備 | 11月～12月 |
| (5) 審査会（コンテスト） | 1月 |

4 予算

2,000万円

(仮称) 共同行動参加システムの実施設計及び構築

1 目的

誰もがいつでも、CO2 削減を始めとする環境負荷低減活動等に参加できるようなインターネットを利用した共同行動の場として、「(仮称) 共同行動参加システム」を構築する。
平成 22 年度においては、同基本計画の有効性を検証し、システム構築を行う。

2 事業内容等

平成 21 年度に策定した「(仮称) 共同行動参加システムの基本計画」の基本コンテンツの有効性（集客力（人数）、安全性、費用対効果他）について客観的に検証する。検証結果により提案された、改善・向上策、代替案を考慮し、システムの詳細設計及び構築を行う。
詳細設計等にあたっては、必要に応じて各自治体への意見照会等を行うこととする。

基本コンテンツ

(1) 「知る」・「学ぶ」

- ① 「エコクイズ」(環境 3 6 5 メールクイズ)
- ② 「エコまなび」(楽しみながら環境教育)
- ③ 「エコライフ」(あなたの行動で減る CO2 の量を試算)

(2) 「伝える」・「発信する」・「教える」

- ① 「エコニュース」(みんなでオール東京環境情報発信)

(3) 「記録する」・「比較する」

- ① 「エコくらべ」(みんなで CO2 排出量の記録・比較)

3 スケジュール

- | | |
|---------------|-------------------|
| (1) 検証委託業者の選択 | 平成 22 年 5 月～ |
| (2) 検証期間 | 平成 22 年 6 月～9 月 |
| (3) 委託事業者の選定 | 平成 22 年 10 月 |
| (4) 詳細設計の策定 | 平成 22 年 11 月～12 月 |
| (5) システム構築期間 | 平成 23 年 1 月～3 月 |

4 予算

4,000 万円 (消費税含む)